

宮城県でこれまでに起きた気象災害には、どのようなものがあるのでしょうか。



2002 (平成 14) 年 7 月 11 日
台風第 6 号の接近と梅雨前線による豪雨で河川が増水し堤防が崩れた。(栗原市若柳町)



2007 (平成 19) 年 7 月 15 日
台風第 4 号による大雨で地すべりが発生。市道が崩落した。(白石市小原字追久保)



2014 (平成 26) 年 2 月 15 日
低気圧の接近により、広い範囲で大雪となった。大雪で孤立した地域では人命救助が行われた。(丸森町大張)



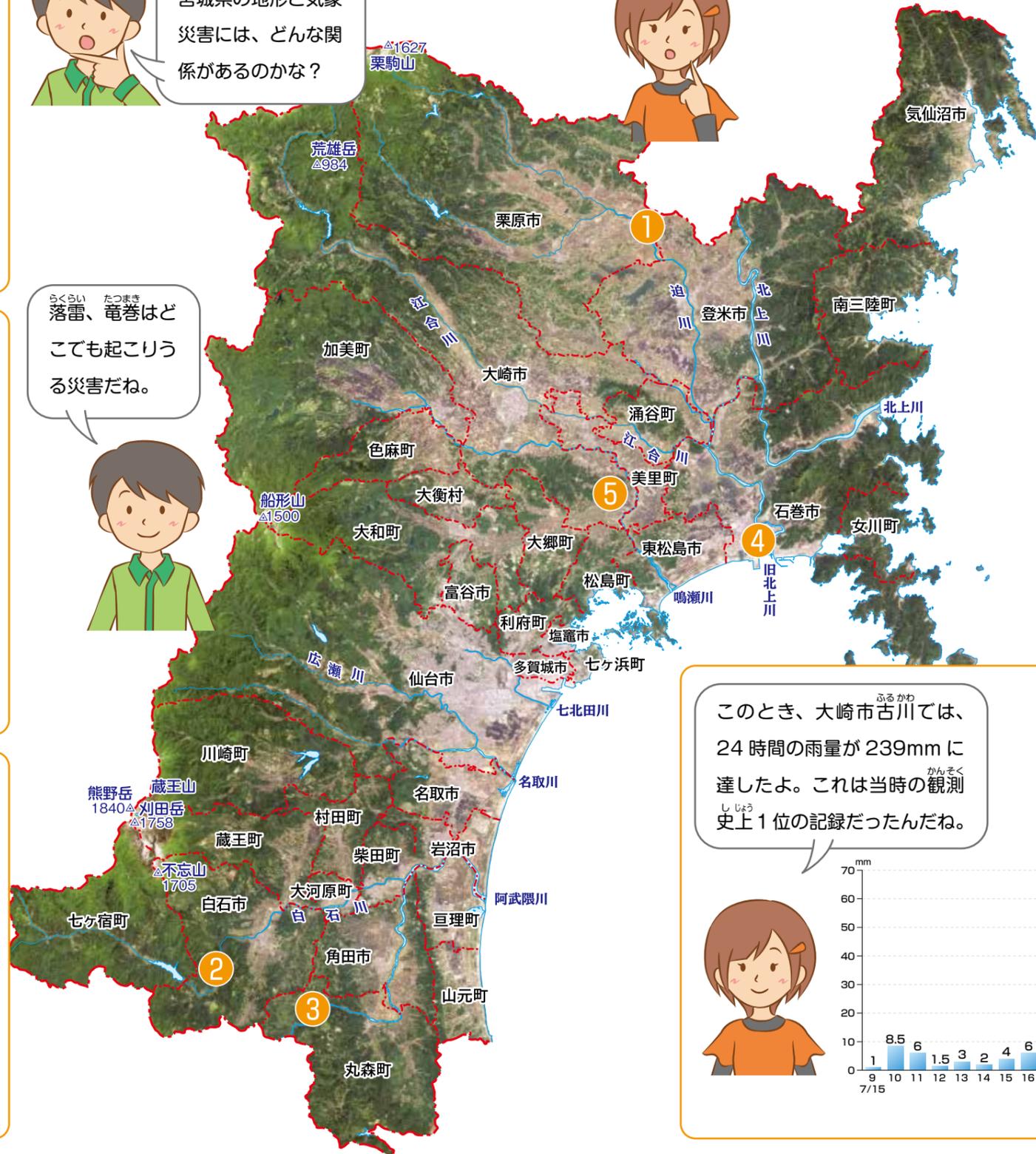
宮城県の地形と気象災害には、どんな関係があるのかな？



気象災害は、いつごろの時期に起こっているのかな？



落雷、竜巻はどこでも起こりうる災害だね。



調べてみよう

宮城県では、大雨や台風などによる土砂災害が発生するおそれのある場所（土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域）は、現在 16,478 か所あります。(令和 7 年 3 月 31 日現在)

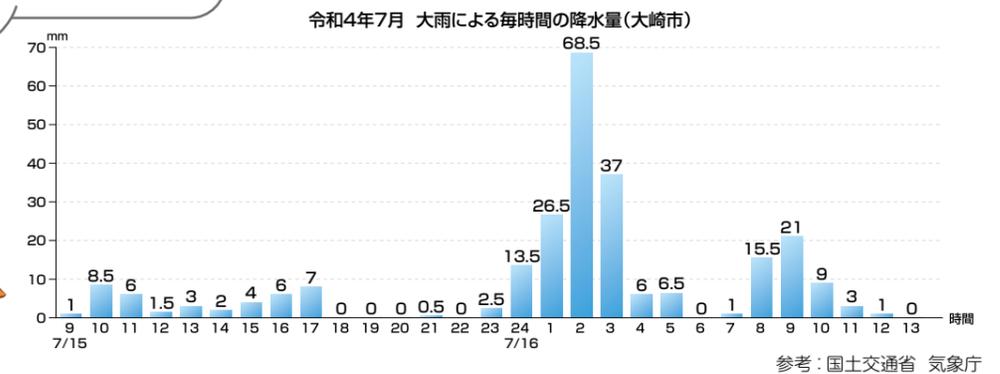


2013 (平成 25) 年 9 月 16 日
台風第 18 号による竜巻で仏壇仏具店が倉庫として利用していた旧店舗 2 階部分が国道へ落下した。(石巻市築山)



2022 (令和 4) 年 7 月 15 ~ 16 日
低気圧の影響により、激しい雨が降り冠水した。ボートによる救出活動が行われた。(大崎市鹿島台地域)

このとき、大崎市古川では、24 時間の雨量が 239mm に達したよ。これは当時の観測史上 1 位の記録だったんだね。



令和 4 年 7 月 大雨による毎時間の降水量(大崎市)

参考：国土交通省 気象庁